

6 家庭・地域・関係機関等との連携体制の充実

子どもたちの学びや心身の成長を支えていくためには、学校と家庭・地域・関係機関等が相互に連携する体制の充実を図ることが大切です。

そのためには、学校運営協議会の効果的な活用を図るとともに、各校の特色を生かした「絆づくり教育プラン」や各教科等の学習において、関係機関や外部人材を積極的に活用するなどし、子どもたちが地域や社会との関わりの中で様々な人から学ぶ機会を充実させることが重要です。

■家庭や地域とのつながりを深める体制づくり

□学校運営協議会において、保護者や地域の方々と、目指す子どもの姿や取組の方向性、課題などについての協議を行い、学校と家庭・地域が連携して子どもを支える体制づくりに努める。

＜取組例＞

・子どもたちの見守りや地域全体のコミュニケーションの活性化を図るため、学校と家庭、地域住民が協力して、校門前で合同あいさつ運動を行った。

□自校の「絆づくり教育プラン」において、地域素材や人材の積極的な活用を図り、子どもたちが人と人との絆のすばらしさを実感できるような取組を工夫する。

＜取組例＞

・地域の祭りや伝統芸能などの地域行事への参加を通して、地域の一員であることを自覚するとともに、世代を超えて様々な人と交流を深めることができた。

□学校評価等を活用し、保護者や地域、教職員の願いを踏まえた教育活動の工夫・改善が図られるようにする。

□学校の取組や目指す方向性について、ホームページや学校報等で積極的に情報を発信するなど、家庭や地域と共にある学校づくりに努める。

■関係機関や外部人材の積極的な活用

□各教科等の学習において、地域と連携した体験活動や講話会を実施するなど、多様な人との関わりを通して、自分の生き方や社会との結び付きについて考える機会の充実を図る。

□地域と連携した防災訓練やボランティア活動などへの参加を通して、地域のために自分たちができることを考え、実践する場を設ける。

□社会教育施設（→P 62 社会教育施設等参照）や地域の史跡のほか、「小・中学校出前授業」や環境サポート事業を活用するなど、関係機関が実施する体験活動の充実を図る。



【近隣施設での野菜販売体験活動】



【地域探訪学習】



【地域の保育施設と合同で行う避難訓練】